

会務報告

お知らせ

第 20 回日本作業行動学会学術集会

2010 年度の大会は、名称を改めて、第 20 回日本作業行動学会学術集会として、以下の要領で開催します。

場所：鹿児島大学医学部鶴陵会館

(〒890-0075 鹿児島市桜ヶ丘 8-31-1)

日時：平成 22 年 9 月 4 日(土)～5 日(日)

大会長：岩瀬義昭先生

(鹿児島大学医学部保健学科教授)

主題：ひとは作業をすることで健康になる

日程：9 月 4 日(土)

12:00～12:50 受付

12:50～ 1:00 開会式

1:00～ 2:30 特別講演

村井千賀先生 (石川県立高松病院)

「高齢者の活動性を高めるための
作業療法のあり方」

2:40～4:10 公開事例検討会

4:20～5:20 日本作業行動学会総会

5:40～7:40 懇親会

9 月 5 日(日)

9:00～ 10:30 演題発表 I

10:40～12:10 演題発表 II

1:00～2:30 演題発表 III

2:30～ 閉会式

9:00～5:00 人間作業モデル一日講習会

(同時開講特別プログラム)

演題募集要項:

演題を 18 題程度募集します。発表希望者は、[1] 氏名、[2]所属、[3]連絡先(郵便番号・住所・電話・e-mail アドレス)とともに、400 字詰め原稿用紙 3 枚以下の要旨を 2010 年 8 月 5 日(木)必着でお申し込み下さい。発表時間は 1 演題 15 分(発表 10 分、質疑応答 5 分)とします。

公開事例検討会募集要項:

公開事例検討会を 3 題まで募集します。発表希望者は演題募集要項を参照して申し込み下さい。ただし、要旨は 400 字詰め原稿用紙 6 枚程度とします。発表をご希望の方は事前にご連絡下さい。

演題、公開事例検討会ともに、発表は調査・研究の倫理的原則に則り、人権や著作権の尊重に努めてください。発表は口頭発表(PC プレゼンテーション)のみといたします。

なお、会場で使用する OS は Windows Vista、ソフトは Windows 版 Microsoft Power Point 2007 (2000, 2003 も対応可)、動画をご使用の場合は Windows Media Player のみとさせていただきます。

演題審査の後、口頭発表に関する諸注意事項をご案内させていただきます。演題が受理されますと、作業行動研究(第 14 巻第 2 号、2010 年 9 月発行予定)に掲載されます。

演題申込先:

日本作業行動学会事務局まで申込み下さい。メールアドレスは objim@jsrob.org です。

人間作業モデル一日講習会:

鹿児島県内はじめ、近郊の熊本県や宮崎県の作業療法士の方々に、人間作業モデルを学びたいという方を中心に、学会の特別プログラムとして、今年から人間作業モデル一日講習会を開催することになりました。人間作業モデルを学びたい方は奮ってご参加下さい。ただし、会場の関係で、参加者は 60 名までとさせていただきます。

参加費:

日本作業行動学会の会員の方は 3,000 円です。日本作業行動学会の非会員の方は 5,000 円です。人間作業モデル一日講習会ご参加の方は、初日の学会参加を含めて、2 日間で同額とします。なお、一日のみの参加も可能ですが参加費は同額です。懇親会費は 3000 円です。

学会参加申し込み先:

日本作業行動学会事務局まで申込み下さい。メールアドレスは objim@jsrob.org です。人間作業モデル一日講習会参加希望者は件名に「人間作業モデル一日講習会<鹿児島>参加申込」と明記し、氏名、勤務先、同住所、会員・非会員の別、自分のメールアドレスを書いて、8 月 30 日(月)までに申込み下さい。学会は当日の参加も可能ですが、できるだけ事前申し込みにご協力下さい。懇親会参加の可否につきましても併せてお知らせください。

人間作業モデル講習会が開催されました

<関東・神奈川>

3月27日(土)～28日(日)に、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町 1-10-1)で開催されました。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)でした。参加者は42名(会員7名, 非会員32名, 学生3名)でした。

<東京・東部>

4月10日(土)～11日(日)に、首都大学東京健康福祉学部(荒川キャンパス)で開催されました。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)でした。参加者は51名(会員5名, 非会員44名, 学生2名)でした。

<北海道・札幌>

4月24日(土)～25日(日)に、北海道大学医学部保健学科(札幌市北区北12条西4丁目)で開催されました。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と村田和香先生(北海道大学医学部保健学科)でした。参加者は77名(会員5名, 非会員67名, 学生5名)でした。

<九州・福岡>

5月29日(土)～30日(日)に、福岡市の麻生リハビリテーション専門学校で開催されました。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)でした。参加者は46名(会員7名, 非会員37名, 学生2名)でした。

各地で事例検討会が開催されました

4月4日(日)に、東京第46回を**東京東部**地区、首都大学東京健康福祉学部(荒川区東尾久 7-2-10)で、13時30分から17時まで開催しました。発表者は松澤良平先生(春日部ロイヤル訪問看護ステーション)で、演題名は「要支援から要介護になった腰痛を繰り返している症例」でした。参加者は19名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「事例検討の方法～対人交流を拒否した失語を伴う左片麻痺患者に対する維持期の作業療法から～」の講演がありました。世話人は小林法一先生(首都大学東京健康福祉学部)でした。参加費1,500円(学生1,000円)。

4月18日(日)に、**九州**第14回を麻生リハビリテーション専門学校(福岡市博多区東比恵 3-2-1)で、10時から17時まで開催しました。参加者は45名でした。発表者は青山克美先生(麻生リハビリテーション専門学校)で、演題名は「両下肢切断の統合失調症者に対する作業療法」でした。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、MOHOSTの講義とその採点演習がありました。世話人は青山克美、近藤昭彦両先生(麻生リハビリテーション専門学校)でした。参加費1,500円。

5月16日(日)に、**近畿**第19回を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京 1-1-5)で、13時から17時までで開催しました。発表者は永田作馬先生(葛城病院)、演題名は「高次脳機能障害を呈した事例～回復期リハ病棟から退院後の生活までの関わり～」と、原田佳典先生(京都民医連中央病院)、演題名は「高齢障害者における障害受容についての一考察～作業療法経過で作業に関する自己評価改訂版を使用した事例の変化を通して～」でした。参加者は52名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「事例発表で用いられた人間作業モデルの評価法の解説と説明～役割チェックリストの説明～」の講義がありました。世話人は大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)でした。参加費2,500円(学生1,000円)。

5月23日(木・祝)に、東京第47回を**東京西部**地区、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町 2-22-32)で、13時30分から17時までで開催しました。発表者は内田健先生(江戸川病院)で、演題名は「訓練の拒否が継続したが、介助量軽減し自宅退院した重度失語症脳梗塞の男性患者」でした。27名の参加者がありました。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)でした。世話人は鈴木憲雄先生(専門学校社会医学技術学院)でした。参加費1,000円。なお、午前10時から12時に「事例検討の方法」という講義がありました。参加費は1,000円。

6月6日(日)に、**神奈川**第18回を神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町 1-10-1)で13時30分から17時までで開催しました。発表者は大倉直人先生(ふれあい平塚ホスピタル)で、演題名は「予測と解釈が特徴となるクライアントの介入検討」でした。32名の参加がありました。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「MOHOの視点で担当ケースの事例を書くコツ～作業的ストーリーテリング～」の講義がありました。世話人は笹田哲先生と鎌

田樹寛先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)でした。参加費は1,500円。

人間作業モデル講習会が開催されます

以下のように、人間作業モデル講習会を開催します。参加希望の方はホームページから研究会事務局に申し込んで下さい。受講料は会員9000円、非会員11000円です。なお、これまでに受講されたことのある方はリピーター割引として3,000円引きで受講できます。

今年度から、人間作業モデル講習会を1日コースと2日コースに分けて実施することにしました。受講料は会員5,000円、非会員7,000円です。これまでに受講したことのある方はリピーター割引として、1,000円引きで受講できます。

人間作業モデル講習会を自分の地域で開催してほしいと希望する方は、研究会事務局までお知らせ下さい。事務局ではお申し出のあった方と関係者と協議して、講習会の開催を前向きに検討したいと思います。事務局のメールアドレスは objim@jsrob.org です。

<東北・秋田>

6月26日(土)～27日(日)に、秋田大学医学部保健学科(秋田市本道1-1-1)で開催する予定です。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と石井良和先生(秋田大学医学部保健学科)の予定です。

<北陸・金沢>

8月8日(日)に、金沢脳神経外科病院(野々市町郷町262-2)で開催する予定です。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)の予定です。この講習会は初めての1日講習会です。

<中国・岡山>

8月28日(土)～29日(日)に、地方独立行政法人岡山県精神科医療センター(旧・県立岡山病院)で開催する予定です。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と笹田哲先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)の予定です。

<東京・西部>

10月23日(土)～24日(日)に、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町2-22-32)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と鈴木憲雄先生(専門学校社会医学技術学院)の予定です。

<近畿・奈良>

11月13日(土)～14日(日)に、関西学研医療福祉

学院(奈良市右京1-1-5)で開催する予定です。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と石井良和先生(秋田大学医学部保健学科)の予定です。

<東海・浜松>

12月4日(土)～5日(日)に、浜松市リハビリテーション病院(浜松市和合町1327-1)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)の予定です。

人間作業モデル講習会を後援します

<北海道・釧路>

7月31日(土)～8月1日(日)に、北海道釧路市内で開催予定の(社)北海道作業療法士会主催の講習会を後援します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と村田和香先生(北海道大学医学部保健学科)の予定です。詳細は(社)北海道作業療法士会のホームページをご覧ください。

人間作業モデル事例検討会が開催されます

6月20日(日)に、**浜松**第9回を浜松市リハビリテーション病院(浜松市和合町1327-1)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「人間作業モデルはなぜ生まれたのか」の講義があります。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)です。参加費は3,000円(学生1,500円)です。

7月11日(日)に、東京第46回を**東京東部**地区、首都大学東京健康福祉学部(荒川区東尾久7-2-10)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「65歳大学」の講義があります。世話人は小林法一先生(首都大学東京健康福祉学部)です。参加費は1,500円(学生1,000円)です。

7月18日(日)に、**九州**第15回を、麻生リハビリテーション専門学校(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「MOHOの視点で担当ケースの事例を書くコツ～作業的ストーリーテリング～」の講義があります。世話人は青山克美、近藤昭彦両先生(麻生リハビリテーション専門学校)です。参加費は1,500円です。

8月6日(金)に、第1回**金沢**特別人間作業モデル事例検討会を金沢脳神経外科病院(石川郡野々市町

郷町 262-2. 電話 076-246-5600)で、19時から開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)です。世話人は西川拓志先生(石川県立中央病院. 連絡先電話 076-237-8211 内線 3230. メール ot-nishi@ipch.jp)です。参加費は無料です。

8月15日(日)に、東京第47回を**東京西部**地区、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町 2-22-32)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)です。世話人は鈴木憲雄先生(専門学校社会医学技術学院)です。参加費は1,000円です。なお、午前10時から12時にMOHOSTの実施法に関する講義があります。参加費は1,000円です。

8月21日(土)に、**沖縄特別**第4回を沖縄県総合福祉センター(那覇市首里石嶺町 4-373-1)で10時から5時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、MOHOSTの実施法に関する講義があります。世話人は田原行英(琉球リハビリテーション学院)です。参加費は3,000円(学生1,500円)です。

8月22日(日)に、**近畿**第20回を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京 1-1-5)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、MOHOSTの実施法に関する講義があります。世話人は大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)です。参加費は2,500円(学生1,000円)です。

9月12日(土)に、**旭川**第2回を、旭川市内(場所未定)で10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「なぜ人間作業モデルは生まれたのか」の講義があります。世話人は本家寿洋先生(北都保健福祉専門学校)です。参加費は1,500円です。

9月13日(日)に、**四国**第1回を、専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ(高松市上天神町 721-1)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、「MOHOの視点で担当ケースの事例を書くコツ～作業的ストーリーテリング～」と「人間作業モデル:10の概念」の講義があります。世話人は小林理恵先生(国立病院機構善通寺病院)と谷渕加奈子先生(専門学校穴吹リハ

ビリテーションカレッジ)です。参加費は1,500円です。

9月19日(日)に、**浜松**第9回を、浜松市リハビリテーション病院(浜松市和合町 1327-1)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)です。参加費は3,000円(学生1,500円)です。

10月10日(日)に、東京第48回を**東京東部**地区、首都大学東京健康福祉学部(荒川区東尾久 7-2-10)で、13時30分から17時まで開催する予定ですが、参加者が少ない場合は中止します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は小林法一先生(首都大学東京健康福祉学部)です。参加費は1,500円(学生1,000円)です。

10月17日(日)に、**九州**第16回を、麻生リハビリテーション専門学校(福岡市博多区東比恵 3-2-1)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は青山克美、近藤昭彦両先生(麻生リハビリテーション専門学校)です。参加費は1,500円です。

11月7日(日)に、東京第49回を**東京西部**地区、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町 2-22-32)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)です。世話人は鈴木憲雄先生(専門学校社会医学技術学院)です。参加費は1,000円です。なお、午前10時から12時に評価法の講義があり、参加費は1,000円です。

このほかに、北海道作業行動研究会でも、MOHO事例検討会を行っています。世話人・講師は村田和香先生(北海道大学医学部)です。参加費は500円ですが、研究会に入会する必要があります。入会金は1,000円です。日程は以下のホームページをご覧ください。

研究会のホームページで研修会情報をご覧ください。詳細な情報を得て、ご参加下さい。